

堅上の四季

10月号
堅上小学校
R2.9.30
No.3



なつがすき

わたしはなつがすきです。わけは、すいかをたべられるからです。すいかはあまくておいしいです。おかあさんがなつによくかってくれます。おかあさんがさんかくにきつてくれます。おいしいです。いつでもたべたいぐらいおいしいです。(1年)

わたしがすきなのは水ぞくかんです。なぜならペンギンがだいすきで、またみたいからです。また魚が大すきだからです。また水ぞくかんでペンギンをみたいで。(2年)

おかあさんへ

この漢字を贈ります。

わたしは、お母さんにくろうをかけたいてると思います。仕事も、ずっと立ちっぱなしで、とてもつかれていると思います。おせんたくやりの理などもたくさんすることがあって、とってもつかれるので、動いたぶん、はたらいたぶん、いっぱい休んでほしいです。(3年)

おばあちゃんへ

この漢字を贈ります。

今おばあちゃんが入いんしています。今コロナがはやり、びょういんがきびしそうです。おばあちゃんにコロナがうつるのがこわいです。だから安心して平和にコロナもなく、ぶじにたいいんしてほしいです。コロナがおさまり、安心して生きてほしいです。(3年)

安

兄へ

この漢字を贈ります。

ぼくが、家でこまっている時いつもたすけてくれていてます。六月ぐらいに図工でえんぴつたてを作ることになって、でもぼくだけかんせいしてなくて、ほかかごにやりました。むずかしかったのでぜんぜんできませんでした。でも、兄がきてくれて助けてくれました。ありがとうございます。(3年)

優

わたしの生長

6月16日、1回目の観察をしました。葉の形は、ハートみたいで色は黄緑色でした。せたけは、15センチメートルでした。7月16日、2回目の観察をしました。葉の形は、カエルの手みたいで、色は黄緑色と緑色でした。せたけは、24センチメートル



10月の行事予定

- 2 (金) 諸費振替日 SC
- 7 (水) 修学旅行説明会
- 9 (金) 体重測定
- 12 (月) SC
- 14 (水) ひまわり号
- 23 (金) 尿検査2次 堅上マモロンピック SC
- 28 (水) かけはしロード&堅上花いっぱい運動 ひまわり号
- 30 (金) SC

11月の行事予定

- 1 (日) 日曜参観 特認校説明会
- 2 (月) 代休 諸費振替日
- 5 (木) 眼科検診
- 9 (月) ~10日 (火) 修学旅行
- 11 (水) SC ひまわり号
- 13 (金) 堅上マモロンピック予備日
- 17 (火) 尿検査2次漏れ
- 18 (水) 耳鼻科検診
- 19 (木) SC
- 25 (水) 就学時検診 ひまわり号
- 27 (金) 歯科検診



奇跡の瞬間

「なぜ、ホームランを打てないんだ。」これは、去年バッティングセンターに

飯

母へ

この漢字を贈ります。

母は、いつもぼくにおいしいご飯を作ってくれます。母がいそがしい日でもご飯を作ってくれます。たまに父が作ってくれるが、ほとんど母が作ってくれます。ぼくは、このような理由で、ご飯を作ってくれる母に感謝しています。ぼくにご飯を作ってくれてありがとうございます。(5年)

夢

おかあさんへ

この漢字を贈ります。

お母さんは、よくぼくに「大きな夢をもて。」と言います。それを聞くたびに、ぼくは、「がんばるぞ。」と思います。僕の夢は、建築士です。なぜかという、夢をかなえて、弟の家を建ててあげたいからです。だから、また夢へ向かって、第一歩をふみ出したいです。(5年)

学

一年生の私へ

この漢字を贈ります。

今の私は、文章を書くのに時間がかかりすぎます。作文を書くのは好きだけども、だかから、お願い。たくさん言葉覚えてつかえるようになってほしい。本をたくさん読んで。そして、気持ちをスラスラ文章にできるようなるってあなたと私の母が言っていたよ。(5年)

「今できないことを」

今しかできないことを

校長 小森 美智代

暑さ真つ只中の八月十七日に、二学期が始まりました。気温の上昇とともに、コロナの感染対策だけではなく、熱中症対策まで。いろんなことに気を遣うスタートでした。そんな毎日でしたが、子どもたちは、保護者の皆さまや地域の方々に見守られ、元気に登校し、学習活動に取り組んでいます。

二学期と言えば、体育大会で仲良し団の結束力で盛り上がり、すこししやすい季節、校外へと飛び出して、体験活動を行い、多くの学びを子どもたちが獲得する充実したときでもありません。しかしながら、第二波と言われた感染症の広がりも、少し落ち着いてきたのかと感じていますがまだまだいつも通りとはいかない状況であることには、変りはありません。焦らず、少しずつ、「今できること、今しかできないこと」に取り組んでいきたいと考えています。

六年生の修学旅行は、業者や施設に、感染予防の対策をお願いし、実施の方向で話を進めています。幼稚園や中学校と一緒に進めませんが、「堅上マモロンピック」と題して、各学年が競技を行い、各色の団で点数を競い合う体育大会の替わりになるような行事を行います。団旗も作成し、かけはしロードに並ぶことになりました。

地域の方々と深めてきたつながりの中でのいろんな行事は、まだ行えません。それだけが本当に残念でなりません。しかし、長年の取り組みで、作り上げた絆は、こんなことでは、揺るがないと確信しております。今後も、堅上小学校の児童の健全な育成のためにお力添えを頂きますようお願い致します。

行った時の小さな物語である。

ある日、僕はバッティングセンターに行った。久しぶりだから七十キロから打ってみた。見事ホームラン。次の八十キロでもホームラン。よし、この調子でいこう。そして、九十キロ。最初の一振り。カーン。当たったのは当たった。しかしホームランを打てない。なぜだ。八十キロでは打てたのに。その後も何回も挑戦したが、一度もホームランを打てなかった。もうその時にはあべのハルカスのようにとてつもなくでかい壁がおりて来ていたのだ。「こんなにでかい壁を打ちこわすなんて・・・。」とあきらめかけていたその時、お父さんが、「もつと腰を低くして、わきをしめて、よくボールを見る。」というアドバイスくれた。アドバイス通りに打ってみるとカーン。見事ホームランだ。とてつもなくでかい壁が消えた一瞬だった。僕にとつて、九十キロのボールをホームランにすることができたのは奇跡の瞬間だ。この瞬間を一生忘れないだろう。次は九十キロより速い百キロにもどんどん挑戦していききたい。(6年)